

多高通信

第215号 令和5年9月28日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

第34回 多高祭!

■多高祭実行委員長

3年1組 齋藤 成(松島中出身)

今年の多高祭は感染予防が緩和され通常開催することができました。特に2日目は、一般のお客様も多数ご来校いただき、大変盛り上がりしました。

今年はいくつかの団体が校内展示に加え、出店を行いました。また、吹奏楽部、軽音楽部、合唱部、有志団体がステージや中庭で発表を行うなど、皆さんが積極的に多高祭を盛り上げてくれました。また、実行委員企画として、今年はクラス発表がありました。それぞれ議論し各クラスのカラーを出した良い発表になるよう、放課後の時間を費やして準備をしてくれたことから、どのクラスも個性が出ていました。全体を通して、とても有意義な多高祭になったと確信しています。文化部の生徒の中には、この多高祭で引退を迎えた人も多かつ



たはずです。準備の中で感じたもの、学んだものは自身の財産になっているはず。この経験を糧にして、これからの人生を歩んでほしいと思います。最後になりましたが、夏休み前からそれぞれの部署で準備をしてくれた実行委員の皆さん、大変お疲れさまでした。そして、来年以降も、さらに素晴らしい多高祭を作りたいと思います。



1学年

(株)花王による特別授業

7月25日(火)に花王株式会社(研究戦略・企画部)を本校にお招きし、特別授業を行いました。科学技術に対する関心を高め、研究職についての理解を深めることに加え自己の進路選択や進路目標設定に役立て、スーパーサイエンスハイスクールでの活動や課題研究等につなげることを目的としました。これまで1学年で実施していた教科・科目に特化した夏期課外講習(英語・数学・国語)ではなく、生徒の興味・関心を高め、キャリアデザインに役立つ講習を企画し行いました。受講した39名の生徒は、意欲的に取り組んでいました。

■参加生徒の感想

今回の花王の特別授業では、商品開発や界面活性剤について詳しく学ぶことができました。あまり普段では聞くことができない商品開発の裏側を教えてください、一つの商品を作るのにいろいろな専門の人達が意見を出し合い、こんなに多くの人が携わって出来ていることを知ることができました。客観的に見ると、広い視野で物事を見ることは開発者にとって大切であると教えていただきました。私は将来、家政学を学びたいと考えてい

ますので、将来、今回の授業で習った知識を活かすようにしたいです。



2学年

岩手大学理工学部

アカデミックインターンシップ参加

8月第1週5日間の日程で、今年も岩手大学理工学部アカデミックインターンシップが実施されました。多賀城高校2年普通科理系と2年災害科学科のうち、希望する生徒16名が、8月1日(火)・2日(水)にそれぞれ8名ずつ参加しました。大学での学びについての講義、研究活動の体験、大学生・大学院生たちとの懇談などを通して、大学の教育課程や研究活動への理解を深めることができました。



陸上部

祝 東北大会出場!

9月7日(木)から10日(日)の4日間の日程にて宮城県高校新人陸上競技大会が弘進・ゴムアスリートパーク仙台で行われました。

大会3日目に男子やり投げで2年山田俱也が優勝し、東北新人大会出場を決めました。午前中に行われた予選では、出場選手で唯一の50m越えの記録で、1投で予選通過を決め、迎えた決勝では、1投目に50mに迫る投擲を見せてトップに立ちました。3投目に一時逆転され2位に順位を下げるも、4投目で自己記録を更新する会心の1投で再びトップに立ち、そのまま優勝となりました。

更に大会4日目には、男子三段跳びにおいて、松井敬が4回目の跳躍においてそれまでの自己記録を1m60cm以上更新するビッグジャンプを見せ、4位入賞となりました。これまでに大会で上手くないかなかった技術的課題を克服し、東北新人大会の出場を決めることができました。大会は、9月28日(木)から福島県とうほう・みんなのスタジアムで行われますが、自己ベストを目指して頑張りたいと思います。

